



ー サッとしまえて取り出しやすい 収納の奥行と高さー

使いやすい収納は最適な奥行と高さから生まれます。まずは日用品のサイズを知ることから始めましょう。



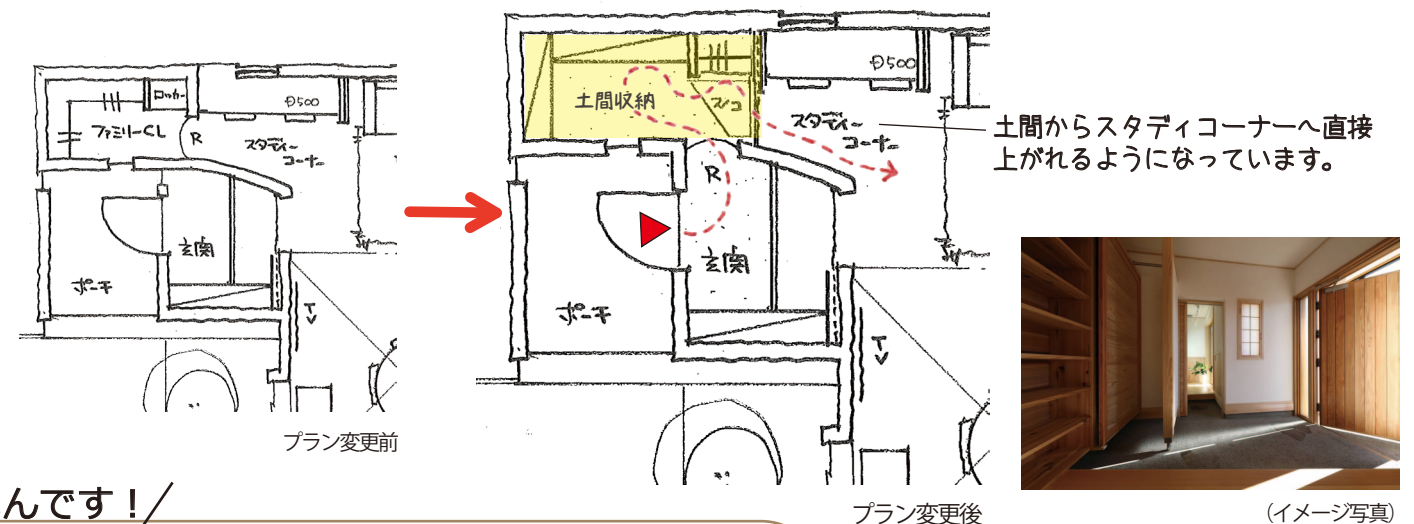
● 靴を履いたまま行ける土間収納

お客様とプランを詰めていく中で、何気ない会話の中に大事なヒントが隠されていることがよくあります。

例えば、「実家からよく野菜が送られてくるのよ〜」さてどこに置きましょうか。

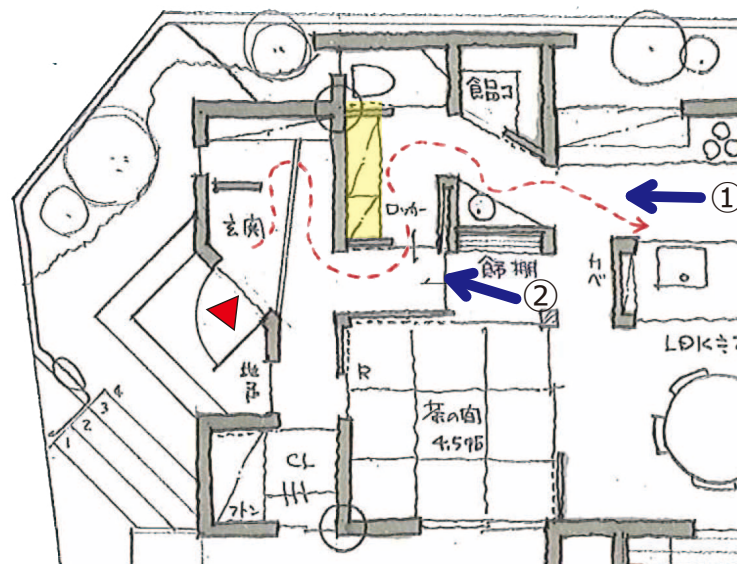
玄関から遠いキッチンまで重たいジャガイモの入ったダンボール箱を運ぶのは…となりますよね。

そこで玄関の近くに位置するファミリークロークを土間収納に変更。玄関から直接行くことができるようになりました。オープンな棚を設けて、家の中まで持ち込みたくない道具箱や荷物を陳列できるようにしました。



プランニングの際に必ずといってよいほど言われることが、「とにかく収納をたくさん作ってほしい」ということです。収納は新築する人の共通のテーマです。でも、はたして収納をたくさんつくったからといって、スッキリ片づけて住むことができるのでしょうか？上手な収納のポイントは「**適物適所**」。まずは毎日の家族の生活行動パターンを把握して、使用する頻度にあわせた収納の場所や仕方をよく考える、「**収納力**」よりも「**収能力**」をあげることが大切です。今回は玄関まわりの「**動線収納**」についてフォーカスしてみました。

ー 毎日の行動から考える動線と収納の快適な関係ー



① キッチンから手洗い、ロッカースペースを見る



② リビング通路から玄関、ロッカースペースを見る

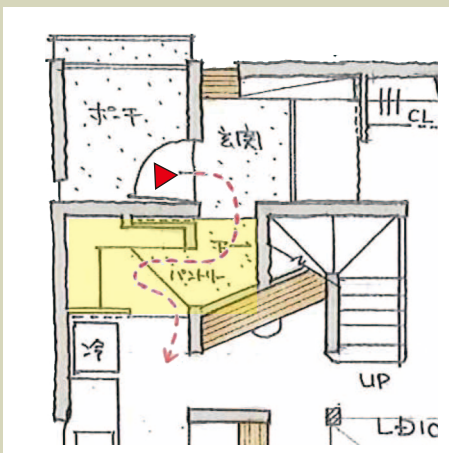
● 動線の流れ

玄関 → ロッカー（オープン棚）→ 手洗い → キッチン
こどもが学校から帰る。カバンを置き、上着をかけて、手を洗う。一連の動きがスムーズにできる配置になっています。繁雑になりがちな毎日使うものの置場が明確で、自然と片づけの習慣が身に付きます。朝、出かける時の起点にもなっているので、忘れ物もしなくなりそうです。通路側の引戸を閉めれば、玄関先での急な対応の際には荷物の仮置き場にもなります。

究極の家事動線。

勝手口不要！玄関から直接パントリーへ

食糧品など毎日の買い物袋を玄関入って直ぐ、靴を脱がずに置くことができます。主婦（夫）目線で考えぬいた、四季工房ならではのプランです。



ここが凄いです！

地震や台風から家を守る天然素材の耐力面材「モイス」

地震や台風の時に大事なのが壁の強さ、モイスは壁面全体で圧力を分散させて住まいを災害から守ります。一般在来木造住宅比2倍以上耐震強度を誇ります。

モイスは消石灰・珪砂・パーミキュライトなどの天然素材から構成されていて、土に還るところも魅力です。安全で体に優しい素材を使った家づくりをしている私たちが、モイスを選ぶ理由の一つです。また、モイスは優れた耐火性能をもった法定不燃材料です。さらに、高い調湿機能を持っていて、壁内部の結露を軽減することで建物の高寿命化に貢献しています。四季工房の家は目に見えないところもしっかりと良いものを使っています。



詳しくは当社ショールームへお越しください。

もっと知ってほしい！
四季工房のこと



HP



Instagram

※次回 10月号は「LDK」について特集します。